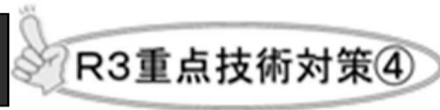


～今年は一カサカサ類、クモヘリカサカサが多発傾向です～
斑点米発生防止のため、基本防除は、適期に確実に行いましょう！

1 コシヒカリの水管理



【YouTube】
15 登熟期間
の水管理

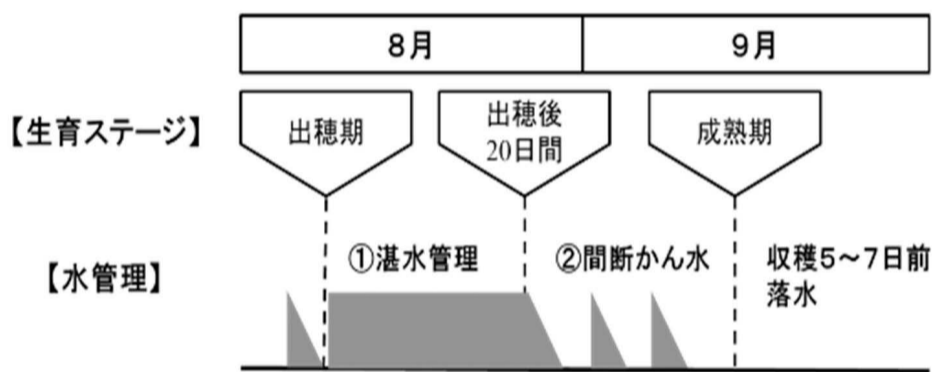
○出穂後20日間は湛水状態を保ちましょう。

「湛水管理」の効果

- ① 稲の葉から水分が蒸散されると気化熱で圃場内の温度が低下し白未熟粒や胴割粒の発生が少なくなる。
- ② 登熟が良好に進み、収量が向上する。

○出穂20日後から刈取5～7日前までは間断かん水を行い、適正な土壌水分を保ち稲体活力を維持しましょう。

＜水管理のイメージ＞



①「湛水管理」

- ・ 3 cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・ 水持ちのよい圃場では、適宜、水の入れ替えを行う。

②「間断かん水」

- ・ 「3 cm程度入水→自然落水→(足跡水がなくなったら)入水」を繰り返す
- ・ フェーンが予想される場合は、あらかじめ湛水する。

※フェーン現象予測(富山県農業共済 HP)をご活用下さい。
<http://micos-sajwa.or.jp/hokuriku/nosai-t/index.htm>

○下流域まで十分に水が行き渡るよう、かけ流しを止め、地域で計画的な用水の利用に努めましょう。

2 てんたかくの刈取り



【YouTube】
16 収穫作業

昨年は8月から高温で経過したため、てんたかくを中心に胴割米が発生しました。刈遅れとならないように注意し、胴割米の発生を防ぎましょう。

【てんたかく刈取適期の目安】(籾黄化率 85～90%)

出穂期	刈取り適期※
7月13日	8月17日
7月16日	8月19日

※富山気象台から積算気温を計算

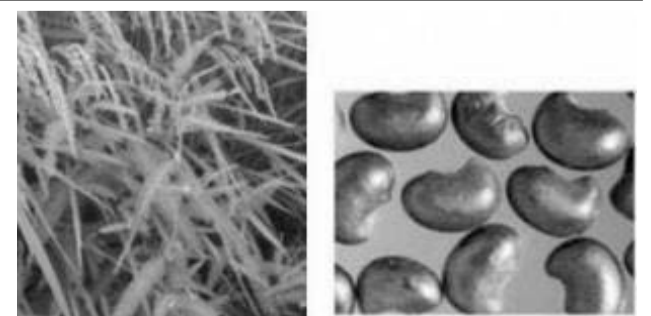


表示の日を参考に、
刈遅れないように
計画的に収穫しましょう！

- 圃場の状態により刈取適期は異なります。各地区に設置される刈取適期表示札を参考に、必ず籾の黄化状況を確認して刈取時期を決めましょう。
- 高温が予想される場合は、籾黄化率80%から収穫が開始できるように準備をしましょう。
- 立毛胴割の発生を防ぐため、収穫の5～7日前までは「間断かん水」とし、落水を早めないようにしましょう。

【刈取作業の注意点】

- 刈取が遅れないようにコンバインの掃除を早めに終えておきましょう。
- 小石やガラス片などの異物が混入しないようにして下さい。
- クサネム等の雑草の種子は選別が困難なので、収穫前にあらかじめ抜いておきましょう。
- ヤケ米発生防止のため、籾は収穫後4時間以内に乾燥機に入れ、送風を開始しましょう。



クサネム(左)とクサネムの種子(右)

3 乾燥作業



【YouTube】
17 乾燥作業

(1) 張り込み時のポイント

- 高水分粳を長時間放置すると、ヤケ米になるので、収穫後4時間以内に乾燥機に入れて送風しましょう。
- 張り込み量が少ないと、相対的に循環速度が速くなり、品質が低くなるので、各乾燥機の基準により、量に応じた送風温度に設定しましょう。

(2) 乾燥作業のポイント

- 胴割米発生防止のため、急激な乾燥は避けましょう。
- 収穫粳の水分を確認し、下表を参考に、粳水分に応じた乾燥作業を行いましょ。

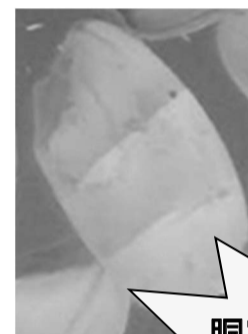
表 収穫時の粳水分に応じた乾燥作業のポイント

収穫粳の水分	乾燥作業のポイント
25%以上	・2～3時間の通風乾燥を行い、送風温度を機種基準より下げて乾燥しましょう。 ・粳水分17%程度で一度乾燥を止め、半日程度休止した後に再乾燥(2段階)しましょう。
20%未満	・圃場内での胴割粒の発生が懸念されるため、送風温度を下げゆっくり乾燥しましょう。

- 粳水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックし、過乾燥を防ぎましょう。
- 下表を参考に、青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で、乾燥機を停止してください。

表 乾燥機停止水分の目安

玄米100粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	変化なし
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)



胴割米は絶対に出さない！！

- 玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。

4 調製作業



【YouTube】
18 調製作業

(1) 粳摺作業のポイント

- ゴムロールが減っている場合や硬化している場合は交換しましょう。
- 肌ずれ米発生防止のため、粳の温度を常温まで冷まし、水分を確かめてから行いましょう。
- 脱ぷ率が80～85%になるようゴムロールの間隔を調整しましょう。
- 粳が製品に混入しないように、選別機の調整をしましょう。

(2) 選別計量のポイント

- 皆掛重量は30.5kgに正しくセットしましょう。
- 網目は1.9mmを使用し、適正な流量で屑米などは確実に除去しましょう。
- 時々、検定済の台秤で計量し、重量が正確か確認しましょう。

※石、金属片、異物等の混入を防止しましょう。



◎高品質、低コスト生産に、カントリーエレベーターやライスセンターを活用しましょう。

各種利用助成制度(平日利用助成、遠隔地利用助成、早生・晩生利用助成、大口利用助成)があります。

生産記録簿兼GAPチェックシートは、出荷時に農協へ必ず提出して下さい。

秋の農作業安全運動 実施中

- 秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します。
- 余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう。
- コンバイン作業時は、衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用しましょう。
- 詰まったワラを取り除くときは、必ずエンジンを切りましょう。
- 後進時には、死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いましょ。